

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>NPOコーディネーター養成講座</p>
<p>事業の概要と目標</p>	<p>特定非営利活動促進法が施行されて、20年が経過しました。全国には5万を超えるNPO法人が活動し、埼玉県においても認証されたNPO法人は二千を超えていると言われています。その中でも事業収入が一千万円を超えるNPO法人は全体の約半分以下と言われています。</p> <p>またNPO法人の形態を大きく分けると「ボランティア型NPO法人」と「事業型NPO法人」の二つになります。前者はボランティアや少額の寄付等を中心に活動している収入規模が小さなNPO法人であり、後者は行政からの委託料の他、民間の事業収入を活動財源している比較的事業規模が大きく（ここでは数千万以上）、社会的課題に正面から取り組み、実際の成果によって、行政の施策などに大きなインパクトを与えるNPO法人です。</p> <p>本事業においては、後者の「事業型NPO法人」が継続的に発展・成長し、地域社会の健全化に寄与するために必要な「NPOコーディネーター」を養成することを目的として、</p> <p>①NPOコーディネーター人材養成のための知識やスキルの学習のためのセミナー</p> <p>②参加者自らの知識や経験、そして課題を出し合う、参加型の実践的なセミナー</p> <p>を行います。</p> <p>そして事業型NPO法人等の事業者やそれらの協力者・賛同者等に対して、共感を持った助言や励ましを行い、NPO活動の発展を促す役割を持った中間支援組織設立につなげていく事を目的とします。</p> <p>また講座終了後は、NPOの運営やNPOコーディネートに関する専門家ボランティアとして登録を促します。</p> <div data-bbox="502 1691 1420 2027" style="text-align: center;"> <pre> graph LR A["事業型 NPO ボランティア型 NPO"] --> B["セミナー実施"] B --> C["NPOコーディネーター養成"] C --> D["専門家ボランティア登録"] D --> E["中間支援組織"] C -.-> F["ビジョン ミッション リーダーシップ 社会的影響 行政との協働等"] </pre> </div>

事業の内容

※事業内容は、項目毎の詳細を記入してください。

※各会場での募集人数、具体的な内容を記入してください。

※箇条書きや図を使用するなど分かりやすい表現を心がけてください。

本事業においては、事業型 NPO 法人を取り巻く様々なステークホルダーの中で三つの視点から事業型 NPO 法人が成長するために必要な条件について考え、NPO コーディネーターの養成を図ります。

●第1回セミナー「(仮題)NPO (プレーヤー) の視点から」

○講師 永沢 映

○会場 ウェスタ川越 (予定) 募集30名

①NPO の視点から

法律施工後 20 年という経過の中で、NPO 法人の事業範囲は多岐にわたってきました。当初、多くの NPO の事業は啓発イベント出展や学習会・講座など、単発的な事業の取り組みが多くみられましたが、それらの実践蓄積の結果、現在複数の NPO は各地域で継続的に、数百万以上の予算規模の大きい事業を連携協働し実施するようになっていきます。そのプロセスで NPO の弱点といわれる基盤強化などの課題を解決するなど、それぞれが持つ専門的知識やスキルの集積は相当なものがあります。これらを結集して公の事業の受託だけでなく、民として事業を実施し成果を上げ、声を上げられる NPO になるためには何が必要か考えます。

●第2回セミナー「(仮題)市民 (サポーター) の視点から」

○講師 永沢 映

○会場 ウェスタ川越 (予定) 募集30名

②市民からの視点

身近な地域の課題から公共的課題まで、幅広く取り組み、社会貢献活動をしている NPO は、市民にとって身近な存在であるはずですが、しかし意外にも市民に認知されず、受け入れられずらい存在であるようです。その理由を明らかにし、市民に受け入れる NPO、市民のパートナーたる NPO の条件を考えます。

●第3回セミナー「(仮題)行政の視点から」

○講師 永沢 映

○会場 ウェスタ川越 (予定) 募集30名

③行政の視点から

NPO は行政から様々な事業を受託し、NPO の財源の相当な割合を占めています。しかし残念ながら NPO は安上がりな委託先としか思われていないケースが多く、NPO が成長するための壁になっているように思います。安上がりな委託先ではなく、しっかりとパートナーシップを構築するための条件を考えます。

●第4回セミナー「(仮題)中間支援組織の設立を考える」

○講師 永沢 映 他1名

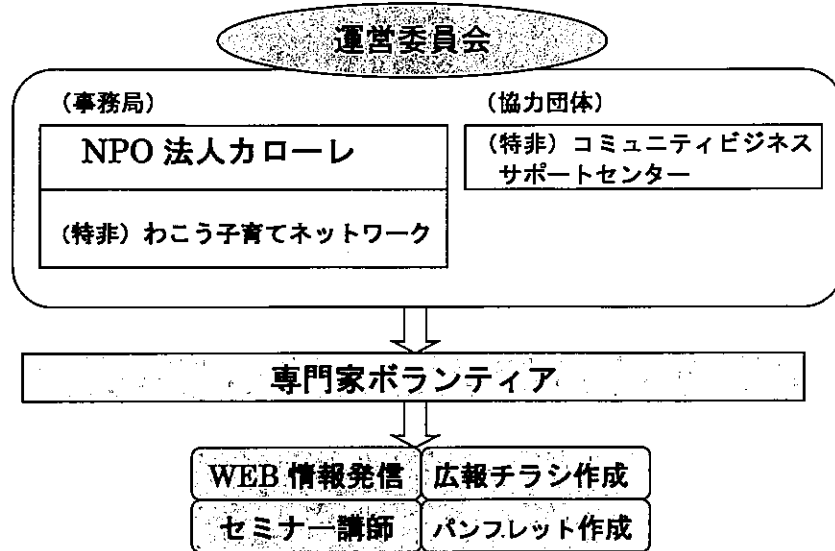
○会場 ウェスタ川越 (予定) 募集30名

④事業型 NPO 法人が継続的に成長・発展するために必要なコーディネート可能な中間支援組織の設立を考えます。

そして本事業の中で出された課題を「見える化」するパンフレットの作成を、専門家ボランティアを活用して作成し、講座に参加できない層や市町村に配布する予定です。

事業の実施体制

※連携して事業を行う団体の団体名・代表者名・団体所在地、連絡先・各団体の事業概要を記入ください。
 ※専門家ボランティアに登録されている人材がどのように関わるかについて記入してください。



◎NPO 法人カローレ

代表 理事長 細田勝実
 住所 鶴ヶ島市上広谷426-4
 概要 学童保育事業を中心とした子育て支援事業

◎NPO 法人わこう子育てネットワーク

代表 代表理事 森田圭子
 住所 和光市丸山台3-1-23701
 概要 子育て支援や子どもの育ちを地域全体で支え合うネットワークづくりに関する事業

◎特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター

代表 代表理事 永沢映
 住所 東京都千代田区神田錦町3-21
 ちよだプラットフォームスクウェア A-205
 概要 コミュニティビジネスの定着と実践者をサポート。

事業計画

※記入しきれない場合は別紙で結構です。

○事業のスケジュール

時期	内容
6月	運営委員会打合せ、会場確保、広報依頼等セミナー準備
7月	〃 〃 〃 〃
8月	〃 〃 〃 〃
9月	第1回セミナー
10月	第2回セミナー
11月	第3回セミナー
12月	第4回セミナー
1月	パンフレット・報告書作成
2月	パンフレット・報告書作成提出

<p>募集方法・広報計画</p> <p>※時期、協力団体、募集の声かけ先、手段、回数など</p> <p>※インターネットによる情報発信は必須</p>	<p>本事業の目的は、現在活動している事業型 NPO 法人が地域課題や社会的課題の解決の成果を通して、国や地方自治体あるいは地域社会に影響を与えうる NPO 法人となるために必要な NPO コーディネーターの養成を目的しているため、参加予定団体については、事業型 NPO 法人もしくは事業型 NPO 法人を志向している団体を想定している。セミナー募集方法については、対象となる NPO 法人について、直接メール・通知文書等で広報・周知を行います。また各市町村についても可能な限り、メール・通知文書等で広報を依頼します。</p> <p>また WEB デザイナー等の専門家ボランティアを活用し、HP 作成や情報発信等の助言をいただきます。</p>
<p>費用の工夫</p>	<p>講師謝金その他、講座開催に必要な費用（会場費等）以外の人件費部分については、連携団体や協力団体との打合せや調整に掛かる費用を出来るだけ縮減し、コスト削減を行います。</p>
<p>事業効果</p> <p>※この取組によってどのような効果が期待できるか。</p>	<p>ボランティア型 NPO 法人については、従来から中間支援 NPO や各市町村における NPO センター等によって、様々な NPO 支援や講座の開催あるいはイベント等が行われてきた。</p> <p>しかし事業型 NPO 法人やそれを志向している NPO 法人については、支援の機会が少なく、それぞれの NPO が自立的に自らの組織をコーディネートし、運営してきました。</p> <p>本事業によって、事業型 NPO 法人の基盤強化等について学び、組織の発展性・継続性にとってもっとも必要なコーディネーター人材の育成を行うことが出来る。</p>
<p>事業の発展性</p> <p>※事業終了後の講座修了者へのサポートはどのように行うか。</p> <p>※来年度以降どのように事業を発展させていくか。</p>	<p>事業型 NPO 法人が発展していくために必要なコーディネート力は、自ら生み出すことには限界があります。事業型 NPO 法人を励まし、勇気付け、社会的にインパクトのある組織にステージを上げていくためには、コーディネート力のある人材の育成と同時に、これらを支援出来る中間支援組織が必要となります。</p> <p>本事業終了後、埼玉県においてこのような中間支援組織の設立を検討していきたい。また事業型 NPO 法人によるネットワークを作り、参加団体によるメーリングリストで事業終了後も課題を共有できるようにしていきます。</p>